

令和8年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	対象学年	単位数	教科書	使用教材
普通科・福祉教養科	芸術	美術 I	全	2	高校生の美術I(日文)	なし
学習の到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深め、意図に応じた表現方法を工夫し、創造的に表すことができる。 ・造形的なよさや表現の意図、美術の働きなどについて考え、構想を練ることができる。 ・主体的に幅広い美術の分野に取り組み、美術に対する関心を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。 				
学期	月	単元	学習内容	到達度目標(学習のねらい)		
前期	4月	表現・鑑賞 絵画	「身近なものを描く」 ・デッサンの基礎について ・画材の特徴と使い方	「対象の造形的なよさや美しさを感じ取り、愛着などを基に、存在感や雰囲気をつ捉えて描く」 ・形や色彩、明暗、質感などの造形的な特徴を捉えようとし、線の強弱や画材の特性を生かし手を動かす。 ・身近なものの特徴や美しさを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 ・身近なものの特徴や美しさなどを捉えて表す創造活動や鑑賞活動に、主体的に取り組む。		
	5月					
	6月	表現・鑑賞 デザイン①	「生活を彩る模様」 ・文様について ・凸版について ・生活の中のデザインについて	「日本の文様を鑑賞し、表現の工夫や生活との関わりを感じ取り、形や色を考えてデザインする」 ・文様の造形的な特徴を基に作風や様式などを捉え理解する。 ・文様の機能や効果について考え、創造的な表現の構想を練ったり鑑賞したりする。 ・動植物やものの形の特徴を生かした文様の表現や日本の伝統的な文様の鑑賞活動に主体的に取り組む。		
	7月					
	9月	鑑賞	・美術作品の鑑賞	・生活や社会の中の美術の働きや美術文化の見方や感じ方を深める。		
後期	10月	表現・鑑賞 映像メディア表現	「アニメーションの手法」 ・アニメーションの原理について ・映像表現について ・アニメーションの制作方法について	「さまざまな技法によるアニメーションを知り、表現のしかたを工夫して作品をつくる」 ・映像メディア機器の特性や基本的な操作や機能について理解し、表現の意図に応じてそれらの特性を生かして制作する。 ・アニメーションの仕組みや特性を理解し、その特性を生かして創造的に構想を練る。 ・アニメーションの特性や表現効果などを感じ取り、撮影時の工夫、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫について考え、見方や感じ方を深める。 ・アニメーションや映像メディア機器の特性を生かした表現や鑑賞活動に主体的に取り組もうとしている。		
	11月					
	12月	表現・鑑賞 デザイン②	「ポスターで伝える」 ・伝達するデザインについて ・発想の広げ方について ・文字のデザインについて ・色について(色の3属性)	「伝えたい内容にふさわしい表現方法を考え、多くの人に伝わるようにデザインを工夫する」 ・メッセージを伝えるデザインの目的に基づき、文字の形や色、構成などの効果的に表す。 ・伝えたいメッセージや伝える場面などを基に、形や色彩、文字などによる伝達効果を考え、創造的な表現の構想を練ったり鑑賞したりする。 ・伝えたいメッセージを効果的に表現する活動や、見方や感じ方を深める鑑賞活動に主体的に取り組んでいる。		
	1月					
	2月	鑑賞	・美術作品の鑑賞	・美術作品などの見方や感じ方を深める。		